

研究成果報告（概要）

氏名	秀島 栄三	所属・職 (成果報告時点)	名古屋工業大学大学院工学研究科 教授
<p>【研究テーマ】利用主体間の多様な関係性を考慮した港湾機能継続可能性に関する研究</p> <p>【研究成果】</p> <p>港湾を利用する製造業者、物流業者、港運業者等の多様な主体は港湾を舞台に連携して効率的に業務を成立させている。震災・津波、台風・高潮などに対する港湾の機能継続の可能性を検討する場合、主体間の社会経済的な相互関係、地理的な位置関係や情報伝達における相互接続関係などはそれぞれに異なっており、危機管理計画や防災計画の立案において如何なる関係性を優先させて整備方策などが策定されるべきかがその都度に課題となる。</p> <p>そこで本研究では社会ネットワーク分析法を用い、平常時における効率的な主体間関係と災害時に有効とすべき主体間関係を可能な限り整合化させることを追求する。分析の結果はハード整備の方策や災害時の取り決めの検討に資するものと言える。</p>			
<p>【成果の活用】</p> <ul style="list-style-type: none">2013年5月27-29日に開催されるThe 10th World Congress of the RSAI(国際地域学会第10回世界大会)で成果の一部を「A study on port function continuity against large-scale earthquake disaster considering linkages of agents」として発表予定。(アブストラクト査読済)三河港と衣浦港の港湾BCP、名古屋港の防災計画の策定に関わり、基本的な考え方を港湾BCP、港湾防災計画の検討に役立てる。			